

### Ⅲ 保育者としての資質や能力・良識・適性

1

〔専門家としての能力〕

- ① 保育にたずさわる者として、専門知識や技能を身につけている。
- ② 保護者に対し、幼児のことや自分の保育のことを分かりやすく話すことができ、保護者との信頼関係をつくることに努めている。
- ③ 保育者並びに他職員が仕事の手順を考え、能率よく行っている。
- ④ 保育者の人間性が子ども達に影響を与えることを自覚している。

〔良識とマナー〕

- ① 幼児や保護者との対応には、公平さを欠かないようにしている。
- ② 朝と帰りのあいさつは明るく親しみを込めて行い、感謝の気持ちを言葉などで表している。
- ③ 園の消耗品や教材は節約して使い、私用に使っていない。
- ④ 服装、髪型、身だしなみなど、清潔感のあるものを心がけ、安全性にも気を付けている。

〔義務〕

- ① 教材、教具の管理、点検、園内外の清掃や整理整頓を実行している。
- ② 締切りのある仕事や提出物の締切日、会議の打ち合わせの時間をきちんと守っている。

2

- ① 他の意見を素直な気持ちで聞いたり、自分の意見を述べることができる。
- ② こどものこと、クラスの出来事などで必要なことはクラスリーダーや園長や主任に報告、連絡、相談している。
- ③ 当番や役割による仕事を理解し確実にしている。
- ④ 上司の指示、命令には責任をもって実行している。

3

- ① 幼児や教育・保育に関する情報を日頃から得ようとしている。
- ② 社会情勢や季節の変化などを感じ取る感受性を大切にしている。

	1	2	3	4
1-①	14.8	55.6	29.6	0
1-②	25.9	63.0	11.1	0
1-③	29.6	51.9	18.5	0
1-④	77.8	18.5	3.7	0
①	63.0	37.0	0	0
②	70.4	25.9	3.7	0
③	81.5	14.8	3.7	0
④	55.6	40.7	3.7	0
①	14.8	70.4	14.8	0
②	29.6	40.8	29.6	0
2-①	26.9	73.1	0	0
2-②	66.7	29.6	3.7	0
2-③	40.7	55.6	3.7	0
2-④	51.9	44.4	3.7	0
3-①	25.9	66.7	7.4	0
3-②	33.3	55.6	11.1	0